

東備西播定住自立圏共生ビジョンについて

○ 東備西播定住自立圏共生ビジョンとは

- ① 生活圏が隣接する備前市、赤穂市、上郡町の3市町の人口推計は、令和2年の92,091人から30年後の令和42年には、41,259人にまで減少
- ② 3市町の魅力を活かした地域づくりにより、人口流出を食い止め、本地域への人の流れを創出することが喫緊の課題
- ③ 様々な課題解決に向けて3市町が連携・協力し、広域的かつ有機的な取組みを推進するための東備西播定住自立圏を形成
- ④ 医療、教育、産業、交通等の分野で3市町が実施する具体的取組みを「定住自立圏共生ビジョン」として策定
- ⑤ 昨年度、圏域の人口を一人でも多く維持したいという強い意識を込めてビジョンを見直し（計画期間：令和7年度～令和11年度）

○ 共生ビジョン懇談会とは

- 定住自立圏共生ビジョンにおける取組みの効果的な推進に際しては、適切な進捗管理が必要
- 進捗管理は、各取組みに設定した数値目標の進捗状況を確認し、改善につなげることが目的
- 進捗管理に際し、市民、関係団体、民間事業者等からご意見等いただく場（懇談会）を設置

取組み目標の達成に向けた進捗状況について

○ 取組み目標の設定

- 各取組みの進捗割合を検証する観点から数値目標（令和6年度）を設定

○ 取組み目標の進捗（令和6年度の達成率）

政策分野	100%以上	99～80%	79～50%	50%以下
1-ア 医療				
1-イ 教育	4	2	6	1
1-ウ 産業振興				
2-ア 地域公共交通	1		1	
2-イ ICTインフラ	1			
2-ウ 地域内外の住民との交流・移住促進	1		4	1
3-ア 圏域内の職員等の交流		1		

➤ 取組みの充実等により、目標値を大きく上回った事業

- ・ 圏域バス運行事業（達成率146%）：路線の再編、定期券・回数券の導入等により、圏域バスの乗車人数が大幅に増加（R5年度11,238人→R6年度18,106人）
- ・ 地域情報活性事業（達成率204%）：Instagram等を活用した積極的な情報発信により、ホームページ閲覧者数が増加（R5年度51,050人→R6年度65,404人）
- ・ 定住相談会開催事業（達成率148%）：毎年度一定数の相談件数を確保し、昨年度は圏域への移住を実現（R4年度104件 R5年度70件 R6年度89件）

➤ 目標値は達成していないが、達成率が上昇傾向の事業

- ・ 民間イベント等助成事業：新規団体の事業参加が増加（10団体のうち3団体が新規）
- ・ こどもと学生のふれあい活動支援事業：夏休み2日間で学生ボランティアが宿題教室を開催